



WONDER MIG

半自動溶接機

210 S / 210 SD

作業スピード、操作性に優れた省電力タイプ。

大好評!!



YASHIMA CORPORATION



WONDER MIG

半自動溶接機

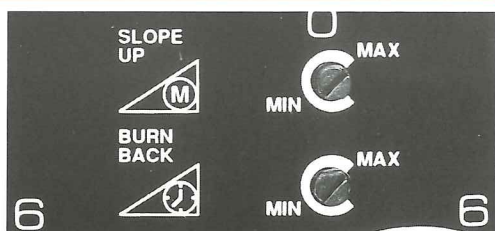
210 S / 210 SD

WM-210 S の特長

- ① 出力210アンペア、三相入力方式で自動車鈑金用として、余裕のあるパワーです。
- ② 省電力、経済性、作業性すべてに優れ、溶接コストを大幅に節約します。
- ③ 溶接ホースにピンゼル社製トーチを採用、使い勝手が抜群です。
- ④ スパッタの発生が少なく、きれいな仕上がりを約束します。
- ⑤ 軟鋼の他にアルミ、ステンレスの溶接も可能です。
- ⑥ 加熱保護装置が、機械のオーバーヒートを防ぎます。
- ⑦ 新機能SLOPE UP, BURN BACKが、溶接の作業性を格段に向上させます。

SLOPE UP, BURN BACK とは?

- SLOPE UP機能とは、溶接スタート時のワイヤー供給スピードを調整する機能で、お好みのスピードに調整することによりスタートから良好な溶接ができます。(スタートから0.5秒間)



- BURN BACK機能とは、溶接作業を終えて手元スイッチを切った時、チップの先に残るワイヤーの長さを調整する機能で、ワイヤーのチップへの溶着、長すぎる残りしろ等を防ぐ事により、常に良好な溶接環境を確保できます。

WM-210 SD の特長

(WM-210S出力可変式仕様)

- ① WM-210Sに位相制御トライアックを搭載したアップグレードモデルです。
- ② 出力調整に連続可変式コントロールを採用、無段階に電流調整ができます。
- ③ 最小出力をノーマル機にくらべて10-15%抑えることができます。勿論、最大出力は従来通りです。

従来とは違うSDタイプのメリットとは?

自動車鈑金では、厚さの異なる様々な鋼板を溶接しなければなりません。ところが従来の半自動溶接機では電流調整スイッチがノッチ式なので、目盛の1より大きく2よりも小さい電流値にセットしたい、というような細かい電流値の設定ができませんでした。



そこでSDタイプでは、パネル面に新規に微小電流調節用のツマミを設け、従来のノッチ式電流コントロールの各ノッチ間の出力を連続可変にて調整できるようにしました。また一般的に、最大出力の大きい機械で薄ものを溶接するのは難しいと言われていますが、SDタイプでは、最大出力を従来品と同等に維持しながら最小出力を10%-15%抑えることに成功したので、仕上りに対する職人さんの高度な要求に完全にお答えできるようになりました。新時代の半自動溶接機としてSDシリーズを是非おすすめします。

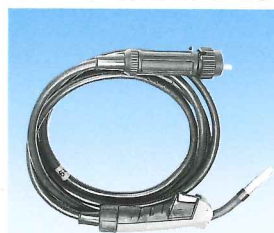
仕 様

- 型式.....210S (210SD)
- 品名.....ワンダーミグ(デラックス)
- 定格一次入力.....三相200V
- 周波数.....50/60Hz兼用
- 最大容量.....7KVA
- 二次開放電圧.....18-34V
- 出力電流.....30-210A (25-210A)
- 使用率.....190A/20%、210A/16%
- 適用ワイヤー径(軟 鋼).....0.6-0.8-1.0
- 適用ワイヤー径(ステンレス).....0.8-1.0
- 適用ワイヤー径(アルミニウム).....0.8-1.0
- 外形寸法.....540×690×830mm
- 重量.....69kg

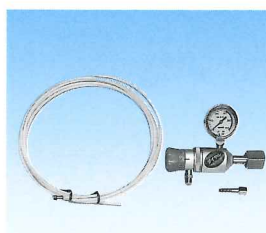
標準附属品

- ウエルディングホース(3m).....1
- アースケーブル(クランプ付).....1
- スチールワイヤー0.8mmφ.....1
- レギュラーノズル.....1
- スポットノズル.....1
- チップ(0.6/0.8/1.0mmφ用).....各2
- ワイヤーローラー.....1
- 炭酸ガス流量計.....1

オプション部品とアクセサリー



ウエルディングホース 3m/4m(ピンゼル社製)



アルミ溶接用パーツセット



各種ワイヤー



炭酸ガス流量計



レギュラーノズル

スポットノズル

チップ

(0.6/0.8/1.0mmφ)

ワイヤーローラー



溶接メガネ

溶接面

★この他にも豊富なオプションを用意しています。

● 性能向上のため仕様、外観を変更することがありますのでご了承下さい。

● 製造発売元

Yashima

株式会社 ヤシマ

本社/東京 営業所/大阪・福岡・仙台 工場/都留

● 販売店